

061212定例会で紹介資料

「カシミール3D入門」内容

1. 概要紹介

山と風景を楽しむ地図ナビゲータソフト

名前の由来: **可視マップを見る**

杉本智彦氏1994年可視マップ作成ソフト「カシミール」を発表

「カシミール3D入門」1995円 ○ CD1枚 2002/4初版

「カシミール3D GPS応用編」 □

「カシミール3Dパーフェクトマスター編」2700円 ● CD2枚 2003/8初版

http://www.kashmir3d.com/ から正規バージョンをダウンロード出来ます。フリーソフトです。

061201現在V8.7.1

		全国	関東甲信越東北	関西	北海道	名古屋～沖縄
地形図	1/20万	○●				
	1/5万		○ ●		●	□
標高データ	50mメッシュ	○●				
地名データ	大久保紀正 低山徘徊派P		○ ○	○		

2. インストール

3. 地図の操作

地図の種類

標高データ	3次元の地形情報を持つ 道路・河川などの情報は無し
地図画像	いわゆる地図
地形図	標高データと地図画像を組合わせたもの

地名の検索とジャンプ

地図のスクロール

マウス
スクロールバー
ガイドパネル

地図の拡大と縮小

スライダ
マウス右クリック/地図表示/枠を拡大・縮小範囲指定/クリック

マークとジャンプ

マウスで指定/右クリック/位置のマーク/データの名前/登録
ジャンプメニューに登録される/ジャンプの編集/ジャンプの削除

各種表示の設定

緯線・経線
地形表現を変える 表示/表示の設定/地形表現/レリーフ等高線(色区分)
光の方向
陰影とコントラスト
地図の表現要素(川・地名等)

地図の測定(直線)

マウスを置く/右クリック/測定/終点で左クリック/右クリック/確定/測定結果表示
スケールを使う

パレットの選択

標高データのパレットを変える 表示/パレットの選択/秋山の色分け・他
パレットの編集(自分ライク)

地図の印刷

編集/選択範囲を決める/ファイル/印刷/選択範囲を印刷/
複数頁にまたがって印刷可能

4. 地形の断面を見る

断面図の作成

2点間の断面 マウスで最初の点で右クリック/断面図/終点で左クリック
続けて右クリック/確定
経路の断面 上記で左クリックをルートに沿って継続、以降同じ

《事例》 金時山コースで作成する
完成図:ファイル/開く/形式を指定した地図/ビットマップ

グラフの操作

多種省略
データ保存 ファイル/GPSデータ変換
画像として保存 ファイル/画像を保存(ビットマップデータ)

5. 展望図を作る

カシバードの起動

ツールバーのカメラアイコン
又は3Dメニューのカシバード

各部の名称と操作方法

プレビューと撮影

プレビュー 粗いがカメラを動かし眺められる(参考データ)
撮影 高精度だが8分くらい時間がかかる

カメラ位置

ポップアップ表示/右クリック/カシバード/カシバード位置
表示のない地名データは作れば良い

任意の位置

右クリック/カシバード/カシバード位置

緯度経度や地名で合わせる

微調

標高と対地高度

カメラの向き

カメラの方向 コンパス/画面マウスドラッグ/
目標物の方向 メニュー/カシバード目標/緯度経度OR地名

展望図の作成

カメラ選択 STD、展望パノラマ
レンズ選択
撮影範囲選択 撮影最大距離を設定できる
初期は50Km
近くの撮影をしない設定も可

風景の選択

カメラ各種設定/標高色分け等

撮影 戻すのはPRV

画像のサイズ

ムービー作成機能

《事例1》金時山からの富士山

《事例2》浅間山からのパノラマ

360度展望図の作成

カメラのボタンSTD/360度カメラ/撮影

地名表示設定

地名の表示
ピックアップ表示
地名の配置
地名のデザイン

アルバムを使う

撮影した画像を登録
左下「撮影した画像と設定をアルバムに送る」鈕を押す
ファイルに書き出す

画像の保存

太陽の位置と軌跡

カシバード/コントロールバー/太陽

各種機能

マウス位置の標高と距離
計算仕様の設定

6. 風景を描く

風景を描こう コンパクトカメラ/プロ用高級カメラ

カメラの種類 展望用パノラマ・360度・プロ用高級・プロ用特殊

フィルムの種類 コンパクトカメラ/プロ用高級カメラ

いろいろな風景

風景の作成と設定

7. 見える山を捜そう

一発判定

ツール/可視マップ/一発判定
緯度経度または山名・地名等を検索して選択
《事例》町田から富士が見えるか？

見える山のリスト

一発判定/地点設定/見える山/地名レイヤー(ex)レベル5以上等

可視マップを作る

半径を指定した一括計算

矩形範囲の計算

①表示/縮尺/50mメッシュの標高

②ツール/可視マップ/計算設定/対象となる山等を入力

③計算したい地図の表示:

編集/選択範囲を決める/その枠で右クリック/可視マップ/

計算範囲を粗く計算/OK/

《事例》町田周辺の市でどこなら富士山が見えるか

1/20万地図町田付近にしておく/開く/可視マップ/町田ファイル

8. データを作ろう

データとファイル

登山ルートをつくる

登山道始点で右クリック/メニュー新規作成/登山道・道路作成/左クリックで作成/

終わったら右クリックで確定/

途中の記号はダブルクリックでプロパティが出たら変更できる。

失敗は右クリックで一つ戻る

必要に応じ区間もプロパティで変更する。

ルート段面

ルートにマウスを近づけ、ルートの名前が出たら右クリック/ルート操作/グラフ表示

《事例》金時山ルート&ルート断面

ルート一覧

ルートの保存

GPSデータとして保存

地名をつくる

湖を作る

9. GPSを使おう

●山へ出かける前に大まかな登山コースをGPSに転送。カシミールで休憩等ポイントを入れたら歩きながら次のポイントまでの方向、距離などがわかります。

●GPSkにはトラックデータを記録する機能があり、帰宅してからPCに転送すればカシミールの地図上に自分の歩いた軌跡を表示できます。

●デジカメ画像と軌跡をリンクすれば歩いたコースに沿って自動的に写真が配置されます。

10. リンクを使ってみよう

デジカメとのリンクのしかた

以上